

2021年11月4日

2030年度 鉄道輸送に関するCO2排出量約50%削減を実現します

政府の温室効果ガス削減目標46%を鉄道事業において達成します

東武鉄道株式会社

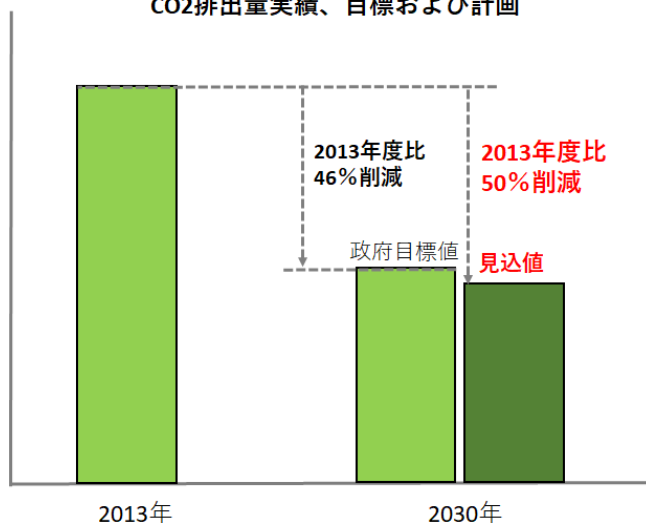
東武鉄道(本社：東京都墨田区)では、鉄道における電力使用量の計画的な削減を図ることで、2030年度における温室効果ガスであるCO2排出量を約50%削減(2013年度比)できる見込みとなりましたのでお知らせします。

東武鉄道では、サステナビリティの考え方のもと、環境負荷低減を重要課題としてとらえ、鉄道車両の省エネルギー化や再生電力の活用など、様々な温室効果ガス削減に努めています。2021年4月に政府から2030年度の温室効果ガス削減目標を2013年度比で46%削減とすることが宣言されたことを受け、当社の中心的事業である鉄道事業において、一層の温室効果ガス削減の検討を進めてきました。

今般、検討の結果、①省エネ車両への置き換え・保有車両数の適正化 ②駅、車両等の照明LED化 ③高効率変圧器への更新 を積極的に推進していく計画を立てたところ、2030年度に電力使用量の約30%削減(2013年度比)を実現させるなど、様々な施策を実施することにより、CO2排出量約50%削減(2013年度比)を達成できる見込みとなりました。

東武グループでは、引き続き各事業における温室効果ガスの削減を推進するほか、再生可能エネルギーの積極的な活用も実施し、鉄道を中心とした環境優位性にさらに磨きをかけ、サステナブルな社会・企業を目指してまいります。

CO2排出量実績、目標および計画



※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター TEL03-5962-0102